

中学校 全学年





【新書シリーズ 3】






☆こんな本を希望



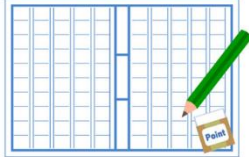

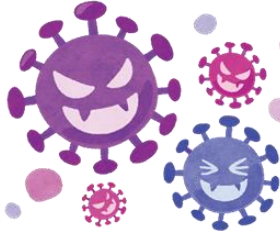

「ちくま Q ブックス」 シリーズ


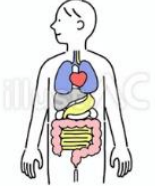








☆図書館で準備できる本(全30冊) 全て筑摩書房発行

No	書名・著者名	内容紹介
1	あなただけの物語のために どうすれば自分を信頼できる？ あさのあつこ/著	自分の言葉、自分の思考、自分の表現こそが最強の自己防衛になる。世の中にあふれている誰かが描いた紛い物の物語に惑わされないよう、「書いたり」「読んだり」を通して、自分の内にある物語を見つめなおす方法を提案する。 
2	震災アーカイブを訪ねる 3・11 現在進行形の歴史って？ 大内悟史/著	 福島・宮城・岩手にある東日本大震災当時のようすを伝えるさまざまな施設、遺構などを紹介。被災地に暮らす当事者や関係者に聞いたインタビューも収録。震災から、何を学び次の世代に語り継ぐかを考える。
3	自分につながるアート 美しいってなぜ感じるのかな？ 池上英洋/著	長い歴史のあいだ、ずっと絵を描き続けてきた人類。なぜ人間だけがそのようなアートを必要とするのか？美術と生活・社会との関わりや、アート作品の意味などを通して、人類だけがもつ不思議な価値観について考察する。
4	となりのヤングケアラー SOS をキャッチするには？ 村上靖彦/著	 本来は大人が担う家事や家族の世話などを日常的に行っている「ヤングケアラー」。“居場所”をキーワードに、彼らに必要な支援などを考える。「クラスのあの子も？」「私も？」と思ったときに読みたい最初の一冊。
5	猫と考える動物のいのち 命に優劣なんてあるの？ 木村友祐/著	動物も人も幸せに生きたい。そのために何をしたらいいか、猫たちと一緒に考えよう。小説家・木村友祐が、身近な生き物、擬人化された動物、人間が利用することに特化された家畜など、人間を取りまく動物たちについて考える。 

<p>6</p>	<p>AI にはない「思考力」の身につけ方 ことばの学びはなぜ大切なのか？ 今井むつみ/著</p>	<p>私たちは文章を読みながら 思考力を使っている。その時に 頭の中で働くのは「推論の力」だ。 この力は人間だけにあり AI には ない。その違いと謎を解き明かす。 2020 年刊「親子で育てることば 力と思考力」を 10 代に向け改稿。</p> 
<p>7</p>	<p>SNS 時代のメディアリテラシー ウソとホントは見分けられる？ 山脇岳志/著</p>	 <p>情報にあふれた現代で、デマに 流されず信頼できるものを選 びとり、自分の世界を広げる には、よく考え、きちんと対話 するための道具として情報を使 いこなすためのメディアリテラ シーを解説する。</p>
<p>8</p>	<p>在日サッカー、国境を越える 国籍ってなんだ？ 木村元彦/著</p>	<p>どこのチームにも所属してい ない 19 歳の在日サッカー選手は やがて国家代表になり、W 杯へ 出場した。そしてそれを支えた のは、コーチ経験のない、ただ のサッカー好きの男だった。 国境を越えて輝く魂の物語を 描く。</p> 
<p>9</p>	<p>地べたから考える 世界はそこだけじゃないから ブレイディみかこ/著</p>	 <p>あなたの足元にはどんな問 いが立っている？ 日常にひそむ 社会の問題を自らのことばで 表現し続けるブレイディみか このエッセイ・アンソロジー。 地べたからの視線の強さと 深さを味わう 15 篇を収録す る。</p>
<p>10</p>	<p>人生が変わるゲームのつくりかた いいルールってどんなもの？ 米光一成/著</p>	<p>ゲームづくり(=楽しい場を生み出 すルールづくり)を習得して、人生 を楽しいものに変えていこう！ ゲーム作家・米光一成が、ゲームを 分析する 3 つの視点、ゲームづくり の道のりなどを紹介する。</p> 
<p>11</p>	<p>いちばん大切な食べものの話 どこで誰がどうやって作ってるか 知ってる？ 小泉武夫/著・井出留美/著</p>	 <p>からだは食べたものでできてい る。しかしその大切な食べもの が今、おろそかにされている。 低い日本の食料自給率、食に 関する改革に成功した先人た ち、日本の食のために今すぐ取 り組むべきことなどを紹介す る。</p>

<p>12</p>	<p>トルコから世界を見る ちがう国の人と生きるには？ 内藤正典/著</p>	<p>文化を理解するためのものさしはひとつではない。西洋と東洋の境目で、どうしたら二つの文化の融合が可能かを考え続けてきた国・トルコ。トルコの考え方を通して、異文化理解やグローバルとはどういうことかを考える。</p>	
<p>13</p>	<p>科学はこのままでいいのかな 進歩？いえ進化でしょ 中村桂子/著</p>	<p>進歩と効率ばかりを求める科学技術は、どこかおかしい。だって私たちは生きものなのだから。科学と未来について、「進化」を軸に、自分の生き方や社会のありようと関連させながら考える。</p>	
<p>14</p>	<p>苦手から始める作文教室 文章が書けたらいいことはある？ 津村記久子/著</p>	<p>作文は何を書いたらいいのだろうか？ 作文を書いたらいいことがある？ 伝わる文章ってどんなもの？ 作文のテーマの立てかたや書くための準備、書き出しや見直しの方法などを紹介する。若い人に手解く、心に効く作文教室。</p>	
<p>15</p>	<p>不思議なテレポート・マシンの話 なぜ「ぼく」が存在の謎を考えることになったか？ 飯田隆/著</p>	<p>もしもこの世界のあらゆるものが複製可能になったら…？ ぼくと発明マニアのおじさんとの、やさしい哲学対話。不思議なテレポート・マシンのとの出会いをきっかけに、哲学の基本的な問題をめぐって丁寧に議論を繰り広げる。</p>	
<p>16</p>	<p>ふしぎなことはことばのふしぎ ことばってナニ？ 池上嘉彦/著</p>	<p>ふとしたきっかけで、「ことば」はふしぎな姿を現してくる。新しい世界を創ることば、「ヤマナシ県」と「オワリノ国」、名前をつけることの意味…。聖書や童謡、俳句など、さまざまな例を通して、ことばのふしぎを考える。</p>	
<p>17</p>	<p>ウイルスって何だろう どこから来るのか？ 青野由利/著</p>	<p>生物でも無生物でもない、フシギな存在、ウイルス。ウイルスの全般的な知識から、新型コロナウイルスの特徴と新型コロナウイルスの由来、ウイルスと人類の闘いまでを解説し、感染症と社会の関わりについて考察する。</p>	
<p>18</p>	<p>漢字が日本語になるまで 音読み・訓読みはなぜ生まれたのか？ 円満字二郎/著</p>	<p>漢字はタイムカプセル！「魔法の剣」って何て読む？「飛び箱」と「跳び箱」、どっちが正しい？ 音読みと訓読みから、同音異義語、二字熟語まで、漢字がかかえる“たいへんさ”を掘り下げ、漢字と日本語の歴史にせまる</p>	

<p>19</p>	<p>言葉を生きる 考えるってどういうこと？ 池田晶子/著</p>	 <p>言葉はどうして伝わるんだろう！ その驚きが、君の力になる。 「14歳からの哲学」の著者・池田 晶子が、「心はどこに」「私とは何 か」「言葉の力」などについて 考察する。「考える」ヒントが満載 の本。</p>
<p>20</p>	<p>生命倫理のレッスン 人体改造はどこまで許されるのか？ 小林亜津子/著</p>	<p>美容整形、ドーピング…。「からだ」や 「あたま」を科学の力で「改造」して よいのか？「エンハンスメント=治療 を超えた医療的介入」をテーマに、 中高生たちの対話を通して、答えの ない「生命倫理」について考える。</p> 
<p>21</p>	<p>なぜ親はうるさいのか 子と親は分かりあえる？ 田房永子/著</p>	<p>親が過干渉になる仕組みを、子ども・ 大人・母親の立場から徹底究明。 40年闘い続けて見えてきた「あの時 の親の言動の意味」と、親との関係で 悩みを抱えている中高生に心得て おいてほしいことを漫画で描く。</p> 
<p>22</p>	<p>悩んでなんぼの青春よ 頭がいいとはどういうこと？ 森毅/著</p>	<p>迷って考え、うろうろすることで、自分自身が広がっていく。 「頭がいいとはどういうこと？」「自分らしく生きるとは？」と いった悩みを取り上げ、稀代の数学者が探究に誘う。次に 読んでほしい本も紹介する。</p>
<p>23</p>	<p>世界一くさい食べもの なぜ食べられないような食べものか あるのか？ 小泉武夫/著</p>	<p>なぜくさい食べものは世の中にたくさんあるのか？ 世界一 くさい魚の缶詰「シュール・ストレミング」、世界最強のチーズ 「エピキュアー」…。人類の英知が詰まった、くさい食べものの 奥深い世界を案内する。</p>
<p>24</p>	<p>マイテーマの探し方 探究学習ってどうやるの？ 片岡則夫/著</p>	 <p>自分でテーマを決めて 「調べる学習」をしたり 「研究論文」を書いたり する「探究学習」の機会が 増えている。探究学習の 基礎から、マイテーマの 探し方、研究論文のデザイ ンまで、中高生の豊富な 実例とともに説明する。</p>
<p>25</p>	<p>SDGs 時代の食べ方 世界が飢えるのはなぜ？ 井出留美/著</p>	<p>食品ロスが深刻な日本。捨てられる食材 の量は国連の飢餓国支援の 1.4 倍。 この状況を変えるにはどうすれば良い のか。SDGs 時代にふさわしい食べ方を 考える。『エシカルはおいしい!!』連載を 加筆し書籍化。</p> 

<p>26</p>	<p>法は君のためにある みんなとうまく生きるには？ 小貫篤/著</p>		<p>電車の遅れは遅刻の 言い訳にならない？ ボールで自転車が壊れたら だれの責任？ 具体的な 場面を取り上げ、法や ルールの基本的な価値や 考え方を解説する。筑波 大学附属駒場中・高等学 校の授業を書籍化。</p>
<p>27</p>	<p>きみの体は何者か なぜ思い通りにならないのか？ 伊藤亜紗/著</p>	<p>背の高さ、性別、老い、死…。体は思い通りにならない。でも 体にだって言い分はある。体の声に耳をすませば、思いがけ ない発見が待っている！ きっと体が好きになる 14 歳からの 身体論。おすすめの本も紹介する。</p>	
<p>28</p>	<p>植物たちのフシギすぎる進化 木が草になったって本当？ 稲垣栄洋/著</p>	<p>植物の進化を見つめると、「強さ」 の基準や勝負の方法は無限に あることがわかる。植物たちの 生き残りをかけた進化の過程を 追った、勇気づけられる植物たち の話。おすすめの本も紹介する。</p>	
<p>29</p>	<p>100 年無敵の勉強法 何のために学ぶのか？ 鎌田浩毅/著</p>		<p>「誰にもじゃまされない人生」を つかむために、「死んだ勉強」を 「活きた勉強」に変えて、ステキな 自分をプロデュースする戦略を 学ぼう。京大人気ナンバーワン教授 が、ワクワクする勉強の秘伝を公開 する。おすすめの本も紹介。</p>
<p>30</p>	<p>未来のきみを変える読書術 なぜ本を読むのか？ 苦野一徳/著</p>	<p>なぜ大人は本を読めというの だろう？ 読書の効用から、読書の 方法、レジュメ(読書ノート)の作り 方まで、頭と目を鍛えるための 本の読み方を解説する。おすすめ の本も紹介。</p>	